

# 紀伊半島研究会シンポジウム

## 「シカとオオセンチコガネのゲノム情報から奈良の森を考える」 要 旨

実施年月日：2023年10月15日（日曜）

午後13：00開始

午後17：00終了

於：奈良女子大学 総合研究棟S棟 2階235教室（オンライン同時配信予定あり）

参加費：無料

参加申込方法：

申込締切：2023年10月13日(金)

WEB申込：下記URL または QR コードから

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe16X1FcvLxleQqpK2t6gZ4DVthFSSbgag7Yy10mSjwzJ2TGQ/viewform?usp=pp\\_url](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe16X1FcvLxleQqpK2t6gZ4DVthFSSbgag7Yy10mSjwzJ2TGQ/viewform?usp=pp_url)



13:00-13:10 趣旨説明：前迫ゆり（紀伊半島研究会会長）

全国的に過密度状態にあるシカ個体群は生態系の大きな脅威となっています。シカの個体数管理、あるいは植生保護柵といった対策はとられているものの、守るべき地域の生態系保全に成功している例は極めて少ないのが現状です。特別天然記念物春日山原始林と天然記念物奈良のシカの問題も、複雑な課題を含みながら、森とシカの保全の模索が続いています。とはいえ、1000年にわたって、シカと森が共生する文化を形成してきた地域は世界的にも類をみないものです。そうしたなかで、この春に届いた「奈良のシカ」の遺伝的構造が独自の遺伝子集団であるというニュースは研究者のみならず市民にとっても、いい意味で衝撃的なトピックスでした。さらに生態系の分解者でもあるオオセンチコガネの遺伝的構造も明らかにされるなど、生態系を考えるうえで興味深い遺伝的研究が進んでいます。そこで、今回はシカとオオセンチコガネの遺伝的構造について成果を発表された研究者に話題提供いただき、森林・草地—シカ—オオセンチコガネの1000年という時間軸から、人と生態系の関わり、そして奈良の森について議論したいと思います。

13:10-13:55 遺伝解析によって明らかとなった「奈良のシカ」の起源

講演者：高木 俊人（福島大学大学院・理工）

奈良公園を中心に生息する「奈良のシカ」は有名な存在ですが、その起源についてはこれまで明らかではありませんでした。私たちの研究チームでは、紀伊半島のニホンジカを対象とした集団遺伝解析を行い、奈良のシカが独自の遺伝子型を持ち、それらは1000年以上も前に周辺地域のシカ集団から孤立したことを明らかにしました。また、新たに奈良市内の局所スケールでのシカの遺伝構造解析を行い、約1,000年間維持されてきた集団が、近年になって奈良市外のシカと交流することで遺伝的な独自性が失われる可能性を確認しました。こうした科学的根拠をもとに、奈良のシカの保護管理の在り方について検討していく必要があります。

14:00-14:45 ルリセンチコガネを生み出したのは何か：ゲノム解析から分かったこと

講演者：荒木 祥文（京都大学大学院・農）

オオセンチコガネは全国に生息しているが、奈良県や紀伊半島には全国的にも珍しい瑠璃色の地域集団がいる——このことは広く知られていたが、このルリセンチが他の地域のオオセンチコガネと遺伝的にどのように異なっているのか、いつ、どのようにして出現したのかはわかっていなかった。今回の講演では、ルリセンチを含む近畿地方のオオセンチコガネの進化史について、最新のゲノム解析の知見に基づいて議論する。

14:50-15:00 休憩

15:00-17:00 パネルディスカッション

15:00-15:20 コメント：DNA解析が教えてくれる生き物の過去・現在

兼子 伸吾（福島大学大学院・理工）

15:25-15:45 コメント：神鹿文化を支える「奈良のシカ」の生態特性

立澤 史郎（北海道大学大学院・文）

15:50-16:55 総合討論

兼子伸吾、高木俊人、荒木祥文、立澤史郎、前迫ゆり

16:55-17:00 閉会の辞：酒井 敦（奈良女子大学・共生科学研究センター長）

進行：高田 将志（紀伊半島研究会・事務局長）

17:15—18:30 総合研究棟 S 棟1階 122 教室にて、講演者の方々を囲みながら、紀伊半島研究会会員・共生科学研究センターの懇親会を開催します。会員の方で参加希望の方は、前述の WEB 申込サイトから参加登録をお願いいたします。懇親会参加費：1500 円（アルコール飲料、ソフトドリンク、軽食代金）

---

主催：紀伊半島研究会

共催：国立大学法人奈良国立大学機構奈良女子大学 大和・紀伊半島学研究所共生科学研究センター  
関西自然保護機構(KONC)

科研「天然記念物「奈良のシカ」再価値化の実証的研究」(基盤 C、代表:立澤史郎)

科研「シカによる森のレジームシフトの生態研究」(基盤 C、代表:前迫ゆり)



(荒木氏撮影)



(高木氏撮影)